

日本史 前期期末~

モンゴル襲来

(**フビライ**) (チングスの孫)、(**高麗**) を通じて日本に朝貢を要求
⇒ 8代執権 (**北条時宗**) (時頼の子)、要求を拒否

1274年 (**文永の役**)

1281年 (**弘安の役**)

⇒ (**異国警固番役**) を強化 (九州の御家人)

モンゴル襲来後の政治

(**博多**) に (**鎮西探題**) を設置

そうした中... 北条氏の嫡流の当主 (**得宗**) の権力を強化

⇒ 御家人や北条氏一門が幕政を主導する、(**得宗専制政治**) が成立 (9代執権 (**北条貞時**) から)

社会の変動

農業 ... (**二毛作**) と (**牛馬耕**) が普及

手工業・商業 ... (**座**) の結成、(**見世棚**) の出現、(**問**) の誕生・発達

貨幣流通 ... (**宋銭**) の流入、(**為替**) の使用、(**借上**) の出現

幕府の衰退

1297年 (**永仁の徳政令**) (幕府が御家人の窮乏化に対応)

(**悪党**) の台頭 (年貢納入拒否など、荘園領主に抵抗する武士)

鎌倉幕府の滅亡と建武の新政

後嵯峨法皇の死後、皇統が2つに分裂

→ (**持明院統**) : 後深草 (後の北朝)

→ (**大覚寺統**) : 亀山 (後の南朝)

⇒ 幕府が調停し、(**両統迭立**) に (両統が交代で皇位につく)

このような中、(**大覚寺統**) (皇統) の (**後醍醐天皇**) (天皇) が即位

2度倒幕を図るが失敗し、(**隠岐**) に流される

しかし、(**楠木正成**)、(**足利高氏**) (後の尊氏)、(**新田義貞**) らが蜂起・活躍

⇒ 1333年 (**鎌倉幕府**) 滅亡

(**建武の新政**) (1333~1336 後醍醐天皇)

→ 天皇へ権限集中 = 摂関・院政・幕府を否定

(**足利尊氏**) が反旗を翻す

⇒ 1336年 京都を制圧し、(**光明天皇**) (天皇) 擁立 → (**北朝**) (持明院統の朝廷)

⇒ 後醍醐天皇は、神器を奉じて吉野へ → (**南朝**) (大覚寺統の朝廷)

南北朝の動乱

3代将軍 (**足利義満**) の (**南北朝合一**) (1392年) まで続いた

武家社会の変化

- ・ 土地相続が (**分割相続**) から (**単独相続**) (嫡子が全て相続) へ

- ・ (**血縁的結合**) (一族) から (**地縁的結合**) (近隣) へ

⇒ 武士団内の分裂・対立により、動乱が長期化・全国化

守護大名と国人一揆

守護の土地支配の強化

- ・ (**半済令**)

守護に、荘園・公領からの年貢の半分を (**兵糧米**) として徴収する権限を付与

⇒ やがて年貢だけでなく土地も分割

- ・ (**守護請け**)

荘園・公領の領主から年貢徴収を請け負う

これらにより、一国全体の地域支配権を確立

⇒ 守護 → (**守護大名**) へ

任国 → (**世襲**) 化

一方、国内では自立した (**国人**) が各地を支配

- ・ 守護大名と主従関係を結ぶ

- ・ 国人同士で (**国人一揆**) を結んで守護大名に対抗

室町幕府

中央組織

① (管領)

将軍を補佐

足利氏一門の (細川) ・ (畠山) ・ (斯波) 氏が就任

⇒ (三管領)

② (侍所)

京都内外の警備・刑事裁判

長官には、(山名)、(赤松)、(一色)、(京極) 氏が就任

⇒ (四職)

地方機関

・ (鎌倉府)

関東八カ国と伊豆・甲斐を統括

尊氏の子、(基氏) が初代の鎌倉公方（長官）

⇒ 子孫が世襲

鎌倉公方を補佐する (関東管領) は、(上杉) 氏が世襲

幕府の軍事力

・ (奉公衆)

幕府の財源

・ (土倉役)、(酒屋役)、(段銭)、(棟別銭)

幕府の交易

・ (日明貿易) (朝貢貿易、勘合貿易)

1368年 明建国

貿易は幕府のみ → 応仁の乱後、細川、大内氏へ

・ (日朝貿易)

1392年 朝鮮建国（李朝）

(李成桂) 倭寇撃退に活躍（漢字注意!! × 季 ◎ 李）

明、朝鮮ともに (足利義満) が国交を開いた

琉球王国の成立

1429年 (中山) の (尚巴) 氏が三山 (山北・中山・山南) を統一して建国
(首里) に王府を置き、外港の (那覇) を拠点に中継貿易で繁栄
明・日本と国交があった

幕府の衰退と庶民の台頭

- ・ (惣村) (惣)
 荘園や公領の内部にできた自治的な村
 ⇒ 鎌倉後期に近畿で発生し、南北朝後期に各地に拡大
 - ・ (土一揆)
 農民、一部の都市民、困窮した武士
 ⇒ 借金の帳消しや債務の破棄を意味する (徳政) を要求 → (徳政一揆) (正長・嘉吉)
 - ・ (応仁の乱) (1467 ~ 1447)
 原因
 - ・ 8代将軍 (足利義政) の後継者争い
 - ・ 畠山・斯波氏の家督争い
 - ・ 有力守護の (細川勝元) と (山名持豊) の対立
 ⇒ 細川方 (東軍) と、山名方 (西軍) に分かれて戦い

 結果
 - ① 有力守護が在京して幕政に参加する体制が崩壊する
 ⇒ 幕府権威の失墜
 - ② 守護代や国人の勢力拡大、守護大名の衰退
 ⇒ 下剋上の風潮が強まる → (戦国大名) の台頭へ
 - ③ 荘園制の解体が進む
 国一揆
 - ・ 争乱から地域の秩序を維持するため、国人ら武士と地域住民が組織して (守護大名) に対抗する (山城・加賀)
- 農業 … (三毛作) の開始、(下肥) の使用
- 商工業 … (六斎市) の増加、(見世棚) の一般化
- 貨幣流通 … (撰銭) の風潮
 ⇒ 幕府や大名による (撰銭令)

戦国大名の登場

家臣団の支配体制

- ・ (**貫高制**)

家臣に組み込んだ国人・地侍の収入額を錢に換算した (**貫高**) で把握し、収入に見合った軍役を負担させる

分国の統制

- ・ (**分国法**)

戦国大名が領国統治のために定めた法令

⇒ 幕府法・守護法を継承したもの、国人一揆の規約を吸収したもの、家訓・家法など

都市の発達

- ・ (**寺内町**)

主に (**浄土真宗**) (一向宗) の寺院や道場を中心に門徒が建設

- ・ (**楽市**)

市場で販売座席 (市座) や市場税を設けず自由な取引をみとめること

都市の自治

- ・ (**堺**)

日明貿易の拠点で繁栄 (細川)

⇒ 36人の (**会合衆**) による自治

- ・ (**博多**)

日明貿易の拠点で繁栄 (大内)

⇒ 12人の (**年行事**) による自治

近世 (江戸時代) の原理

織豊政権 (1573 ~ 1603)

大航海時代

① (**スペイン**) … (**マニラ**) (フィリピン) を拠点にアジア進出

② (**ポルトガル**) … (**ゴア**) (インド)、(**マカオ**) (中国) を拠点にアジア進出

⇒ 明が (**海禁政策**) をとっていたため、(**中継貿易**) に参入

1. 南蛮貿易

- ・ 輸入品 … 中国産 (**生糸**)、(**鉄砲**)、(**火薬**)
- ・ 輸出品 … (**銀**)

※ 1543年ポルトガル人を乗せた中国船が種子島に漂着し、鉄砲伝来

2. キリスト教

- ・ (**ザビエル**) の来日 … 1549年、(**イエズス**) 会の宣教師として (**鹿児島**) に上陸
- ・ 1582年、キリシタン大名たちによる (**天正遣欧使節**) の派遣

豊臣政権の土地・身分政策

1. 太閤検地 … 1582年以降、征服地に検地奉行を派遣して測量を実施

- ・ (**石盛**) … 一段あたりの収穫量の基準 → 土地の生産力を米の量で計測

石盛 × 面積 (段数) = 石高

- ・ (**石高制**) とは、

- ① 田畑・屋敷地の生産高や年貢高を米の収穫高で表す制度
- ② 戦国時代の銭に換算する貫高制から転換

2. 刀狩り令

- ・ 目的 … 農民から武器を没収して武士と農民の身分を確定 → (**兵農分離**)
- ・ 名目 … 京都方広寺の大仏建立のため

対外政策と侵略戦争

- ・ (**バテレン追放令**) (1587年 = 九州平定)

- ・ 理由 … (**木村純忠**) が長崎の地をイエズス会に寄進した事実が発覚
- ・ 結果 … 貿易そのものを禁じなかったため、不徹底に終わる

- ・ 侵略戦争 … 朝鮮の入貢と明への出兵の先導を要求 → 朝鮮は拒否

- ① (**文禄の役**) (1592年)

肥前の (**名護屋**) (漢字注意) を拠点に15万の軍勢が出兵 → 李舜臣の水軍、朝鮮義兵、明の援軍により撤退

- ② (**慶長の役**) (1597年)

14万の軍勢が出兵 → 秀吉の死によって撤退

江戸幕府の成立

1600年 (関ヶ原の戦い) … (徳川家康) が勝利

1603年 徳川家康が征夷大将軍に就任 ⇒ (江戸幕府) の成立

1614年～1615年 (大阪夏の陣・冬の陣) ⇒ 豊臣氏滅亡

幕藩体制

2代将軍 (徳川秀忠) の政治

- ・ 1695年 (一国一城令) … 大名の居城を1つに限定

※ 大名 … 石高が (1万石) 以上の領地を持つ武士

(親藩) : 徳川氏一門 (約20家)

(譜代) : 古くからの家臣 (約150家)

(外様) : 関ヶ原前後から (約100家)

- ・ 1615年 (武家諸法度) … 大名を統制するための法令 (元和令)

3代将軍 (徳川家光) の政治

- ・ 1635年 (寛永令) (新たな武家諸法度) … 参勤交代の義務や大船建造の禁止
- ・ (参勤交代) … 江戸と国元を1年おきに居住させた (関東は半年) 妻子は江戸に居住 (人質)

幕府と藩の機構

1. 財源

- ① (幕領) (天領) … 幕府の直轄領 (約400万石 ・ 1/4が関東地方)
- ② (鉱山) からの収入

2. 軍事力

将軍直属の家臣で、1万石未満

- ① (旗本) … 将軍に謁見できる
- ② (御家人) … 将軍に謁見できない

3. 幕府の機構

- ① (老中) … 幕府の統括、(譜代) から任命
 - ② (若年寄) … 老中の補佐、(譜代) から任命
 - ③ (三奉行) (寺社・勘定・町) … 老中とともに (評定所) で合議
 - ④ (京都所司代) … 朝廷の統制、西国大名の監視
- ・ (藩) … 大名の領地とその支配機構
 - 知行制度
 - ① (地方知行制) … 家臣に一定の領地を与え、その支配権を認める
 - ② (俸禄制度) … 直轄領からの年貢を (蔵米) として支給 (17世紀半ばに①から移行)

禁教政策

1612年 (禁教令) を直轄領に発令

⇒ 翌年、全国へ

1637年 (島原の乱) … キリシタンを含む土豪・百姓の一揆

⇒ 翌年鎮圧

- ・ (寺請制度) … 寺院がキリシタンでないことを証明、(宗門改め) を実施

江戸時代初期の外交

- ・ (朱印船貿易) … (朱印状) (貿易許可状) を持つ船の貿易
- マニラ (フィリピン)、フォイアン (ベトナム)、プノンペン (カンボジア)、アユタヤ (タイ) など東南アジア地域へ
- ⇒ (日本町) を築く

鎖国政策

理由

- ① キリスト教禁教のため
- ② 幕府が貿易を独占するため

1616年 外国船の寄港地を (平戸) と (長崎) に限定

1623年 イギリス → 日本から撤退

1624年 スペイン → 来航禁止

1635年 日本人の海外渡航と帰国の禁止

1639年 ポルトガル → 来航禁止

1641年 オランダ → 商館を (平戸) から (長崎の出島) に移す

⇒ (鎖国) の完成

長崎貿易

2国のみ許可

① オランダ・・・キリスト教の布教を行わず、貿易に専念

商館長が世界の情勢を記す (オランダ風説書) を幕府に提供

last mod. Jul 21 次回へ続く？

2ndQ日本史試験対策 印刷用PDF (解答なし)

修正は [GitHub#issues](#) から